# 宝塚市水道事業経営戦略 中間見直し(案)

概要版

令和3年(2021年)7月 宝塚市上下水道局

## 目次

第1章	見直しの趣旨	• • •	• • •	• •	• •	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	1
第2章 (1) (2) (3)	計画期間前期の 収益・費用 ・ 給水収益 ・・ 投資 ・・・・	「収益 ・・・ ・・・	・費用 ・・・ ・・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	の検 ・・ ・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	• •	•		• •		•	•	2 2 2 3
第3章 (1) (2)	計画期間前期の 計画期間前期の 計画期間後期の	実績		で取 ・・ ・・	· A.	の核 ・・	· •	と後 ・・	· •	の! ・ ・	見込 • •	・ ・	•		4 4 5
第4章 (1) (2)	経営戦略策定後 水道法の改正 上下水道局新庁				• •		•		•		• •	•	•		6 6
第5章 (1) (2)	財政収支計算表 収益的収支 ・ 資本的収支 ・				• •				•		• •	•	•		7 7 7
第6章 (1) (2)	総括原価方式に 試算の条件 ・ 改定率の試算	よる料 • • •	·金改定 • • • •	   率の     ・・	就算 • •	i				•	 		•		1 0 1 0 1 0
第7章	今後の課題 ・												•		1 1

#### 第 1 章 見直しの趣旨

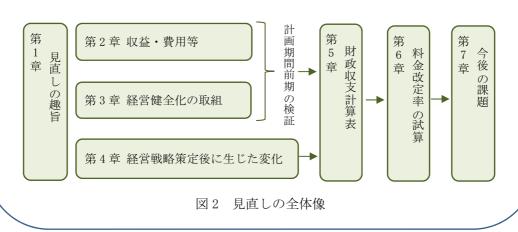
平成28年(2016年)12月に策定した宝塚市水道事業経営戦略(以下「経営戦略」という。)について、策定から4年が経過し、幾つかの計画値と実績値との間に乖離が生じていることや水道事業を取り巻く環境が変化していること等を踏まえ、見直しを行います。水道事業は「今後、水需要が減少するにもかかわらず、投資額が増大する」という大きな課題に直面しています。人口推計等から試算すると、下図のとおり給水収益はこの50年で約13億円減少する見込みです。このような状況で安定的に事業を継続するために、見直しは不可欠です。



図1 給水収益の推移

#### ○ 見直しの流れ

今回の見直しでは、下図のとおり、計画期間前期の収益・費用等について検証した後、財政計画を下支えする「経営健全化の取組」について計画期間前期の検証を行い、経営戦略策定後に生じた変化を加えて、計画期間後期の財政収支を見込みます。また、それらを基礎として、料金改定率を試算するとともに、宝塚市の水道事業の今後の課題を示します。



#### 第2章 計画期間前期の「収益・費用」等の検証

計画期間前期の収益・費用等(平成28年度(2016年度)から令和元年度(2019年度)までは決算値、令和2年度(2020年度)は決算見込値)について検証します。表題に付されている括弧書きの数字は、経営戦略の該当頁を示しています。なお、計画期間後期の見込額については、第5章に記載しています。

#### (1) 収益・費用(20)

経営戦略では平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)までの合計で989,173 千円の経常損失が生じる見込みでしたが、実際は302,731千円の経常損失となり、損失が686,442千円減少する結果となりました。投資額が経営戦略に満たなかったことにより(支払利息はそれに加えて利率が経営戦略よりも低かったことにより)、減価償却費及び支払利息の実績が経営戦略と比べて減少(減価償却費329,621千円減、支払利息418,805千円減)し、損失が減少しました。

① 経常収益 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	4, 512, 765	4, 357, 810	4, 365, 318	4, 365, 378	4, 346, 402	21, 947, 673
実 績	4, 370, 275	4, 422, 779	4, 470, 210	4, 326, 549	4, 099, 862	21, 689, 675
差額	△142, 490	64, 969	104, 892	△38, 829	△246, 540	△257, 998

② 経常費用 (千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	4, 384, 045	4, 674, 347	4, 632, 018	4, 610, 040	4, 636, 396	22, 936, 846
実 績	4, 085, 451	4, 386, 274	4, 592, 066	4, 540, 482	4, 388, 133	21, 992, 406
差額	△298, 594	△288, 073	△39, 952	△69, 558	△248, 263	△944, 440

#### (2) 給水収益(20)

計画期間前期の給水収益の実績は、ほぼ経営戦略どおり推移しました。なお、令和2年度(2020年度)に実績が大きく減少しているのは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市民生活等を支援するため、4カ月間の基本料金の減免を行ったためです。

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	3, 516, 111	3, 517, 829	3, 524, 134	3, 531, 811	3, 518, 751	17, 608, 636
実 績	3, 524, 138	3, 535, 035	3, 523, 169	3, 526, 658	3, 101, 772	17, 210, 772
差額	8, 027	17, 206	△965	△5, 153	△416, 979	△397, 864

#### (3)投資

令和元年度までは阪神水道企業団からの受水事業を中心に事業を行ったため、計画期間前期の投資額は経営戦略の数値を 2,788,229 千円下回る結果となりました。計画期間後期に事業実施体制の強化を図り、投資計画指標の目標達成に努めます。

#### ① 施設・設備の耐震化費用(7)

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	187, 000	157, 000	100,000	100,000	100,000	644, 000
実 績	8, 130	0	0	0	232, 624	240, 754
差	△178, 870	△157, 000	△100,000	△100,000	132, 624	△403, 246

#### ② 施設・設備の更新費用(7)

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	439, 774	190, 000	630, 000	630, 000	630,000	2, 519, 774
実 績	227, 106	177, 859	161, 673	782, 488	360, 166	1, 709, 292
差	△212, 668	△12, 141	△468, 327	152, 488	△269, 834	△810, 482

#### ③ 管路の更新費用 (8)

(千円)

年 度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
経営戦略	270,000	270, 000	920, 000	920, 000	920, 000	3, 300, 000
実 績	119, 222	141, 317	171, 473	588, 503	704, 984	1, 725, 499
差	△150, 778	△128, 683	△748, 527	△331, 497	△215, 016	△1, 574, 501

用語の説明

経常収益・・・・営業収益と営業外収益の合計額

経常費用・・・・営業費用と営業外費用の合計額

経常損失・・・・経常収益から経常費用を控除した額

給水収益・・・・水道料金として収入する額

#### 第3章 計画期間前期の「経営健全化の取組」の検証と後期の見込み

経営健全化の取組について、計画期間前期の実績額(平成28年度(2016年度)から令和元年度(2019年度)までは決算額、令和2年度(2020年度)は決算見込額)を算定し、その結果に基づいて計画期間後期の効果額を見直します。なお、表題に付されている括弧書きの数字は、経営戦略の該当頁を示しています。括弧書きの数字のない項目は新たに追加した項目です。

#### (1)計画期間前期の実績

計画期間前期の実績について、経営戦略で2,570,554 千円を見込んでいた効果額は、「小林・亀井浄水場跡地活用」及び「小浜・惣川浄水場夜間等運転管理委託」が実施できていないこと等により、合計で1,275,793 千円下回り、1,294,761 千円となりました。 上段は経営戦略の金額、下段は実績額を記載しています。

(千円)

取組項目	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	合計
職員配置の見直し	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	28, 160
技術職員配置の見直し	_	_	16, 000	32,000	32, 000	80,000
投州戦貝配直の兄直し	_	-	9, 010	9, 010	36, 040	54, 060
水道配水施設管理業務委託	800	800	800	800	800	4,000
<u> </u>	3, 167	2, 804	2, 804	2, 804	2, 804	14, 383
生瀬浄水場完全委託	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
土傾伊小物元王安癿	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	19, 095
包括委託拡大	-	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000
已怕安配加八	-	9, 592	9, 592	9, 592	9, 592	38, 368
小浜・惣川浄水場夜間等運		17, 255	17, 255	34, 510	34, 510	103, 530
転管理委託業務	-	0	0	0	0	0
公営企業債償還年限延長	-	-	1	-	32, 369	32, 369
石呂正未頂頂逐千成延氏	-	-	_	_	0	0
小林・亀井浄水場廃止	-	-	318, 000	318, 000	318, 000	954, 000
<b>八杯</b> 。电开伊	-	-	223, 307	306, 537	312, 138	841, 982
深谷貯水池用途廃止等	-	-	19, 030	19, 030	19, 030	57, 090
1本行則	-	-	17, 833	16, 903	18, 034	52, 770
小林・亀井浄水場跡地活用	-	-	-	-	1, 111, 870	1, 111, 870
77杯。电开伊尔德奶地百用	-	-	-	-	0	0
給与減額等	25, 761	26, 787	27, 813	3, 667	3, 667	87, 695
和子恢假子	23, 896	25, 460	26, 792	3, 667	3, 667	83, 482
生活保護減免廃止	-	-	-	-	_	_
工作体设例允先工	-	-	-	14, 050	16, 735	30, 785
会計年度任用職員の活用	-	-	-	-	_	_
云可平反江州城县《沿州	-	28, 389	18, 926	18, 926	18, 926	85, 167
兵庫県営水道の受水費改定	-	-	-	-	-	-
大學不肯小坦沙文小貝以足	-	-	-	-	38, 325	38, 325
阪神水道の受水費改定	-	-	-	-	-	_
水下小垣*/又小貝以仁	-	-	-	-	8, 184	8, 184
合計	38, 561	76, 842	430, 898	440, 007	1, 584, 246	2, 570, 554
ПрІ	36, 514	75, 696	317, 715	390, 940	473, 896	1, 294, 761

#### (2) 計画期間後期の見直し

計画期間後期については、経営戦略で2,361,880千円を見込んでいた効果額は、「職員配置の見直し」「生瀬浄水場完全委託」「包括委託拡大」「小浜・惣川浄水場夜間等運転管理委託業務」「公営企業債償還年限延長」「小林・亀井浄水場廃止」「深谷貯水池用途廃止等」の減額、「技術職員の配置の見直し」「水道配水施設管理業務委託」の増額、「生活保護減免廃止」「兵庫県営水道の受水費改定」「阪神水道の受水費改定」の追加を行ったことにより、差引で98,968千円増額し、2,460,848千円となる見込みです。上段は経営戦略の金額、下段は見直し後の金額を記載しています。

(千円)

取組項目	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	合計
職員副果の日本1	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
職員配置の見直し	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	5, 632	28, 160
技術職員配置の見直し	32,000	32,000	32, 000	32,000	32, 000	160,000
1次州戦兵配直が元直し	36, 040	36, 040	36, 040	36, 040	36, 040	180, 200
水道配水施設管理業務委託	800	800	800	800	800	4,000
<u> </u>	2,804	2,804	2,804	2,804	2,804	14, 020
生瀬浄水場完全委託	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
工阀计小物儿主安比	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	3, 819	19, 095
包括委託拡大	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100, 000
已归安癿加八	9, 592	9, 592	9, 592	9, 592	9, 592	47, 960
小浜・惣川浄水場夜間等運	34, 510	34, 510	34, 510	34, 510	34, 510	172, 550
転管理委託業務	0	10, 059	10, 059	10, 059	20, 118	50, 295
公営企業債償還年限延長	1, 091	15, 111	35, 899	47, 185	62, 559	161, 845
五百正未頁頁逐中限延尺	1,030	14, 271	33, 906	44, 566	63, 990	157, 763
小林・亀井浄水場廃止	318,000	318,000	318, 000	318,000	318, 000	1, 590, 000
7.4件。电开伊小勿房正	308, 000	308, 000	308, 000	308, 000	308, 000	1, 540, 000
深谷貯水池用途廃止等	19, 030	19, 030	19, 030	19, 030	19, 030	95, 150
(本有) (內區/內壓/產五 守	17, 000	17,000	17, 000	17, 000	17, 000	85,000
給与減額等	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	18, 335
加了吸取守	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	3, 667	18, 335
生活保護減免廃止	_	_	_	_	_	-
工作体设况允先业	16, 735	16, 735	16, 735	16, 735	16, 735	83, 675
兵庫県営水道の受水費改定	-	_	-	_	-	_
八产小口小也以又小貝以仁	38, 325	38, 325	38, 325	38, 325	38, 325	191, 625
阪神水道の受水費改定	-	-	-	-	-	-
水   水   火	8, 944	8, 944	8, 944	8, 944	8, 944	44, 720
合計	441, 098	455, 118	475, 906	487, 192	502, 566	2, 361, 880
ПП	451, 588	474, 888	494, 523	505, 183	534, 666	2, 460, 848



#### 経営健全化の取組

- ・・経営基盤を強化するための費用削減等の取組
- 小林・亀井浄水場廃止
  - ・・平成30年度に小林・亀井浄水場の運転を停止したことによる経費削減額

#### 第4章 経営戦略策定後に生じた変化

経営戦略の策定時点では想定されていなかった事象について、次のとおり必要な費用を計上して対策を講じます。

#### (1) 水道法の改正

令和元年(2019 年)10月1日に改正水道法が施行され、適切な資産管理のために「水道施設台帳を適切に作成及び保存し、更新作業を着実に行うこと。さらに、水道施設台帳の電子化等、長期的な資産管理を効率的に行うこと」が求められました。また、水道の基盤を強化するために「将来の更新需要等を考慮した上で水道料金を設定すること。概ね3年から5年ごとの適切な時期に検証し、必要に応じて見直すこと」などが求められています。令和3年度(2021年度)に水道施設台帳を作成するため、次のとおり費用を計上します。

(千円)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
営業費用 (委託費)	20,000	0	0	0	0

#### (2) 上下水道局新庁舎建設事業の延伸

計画期間前期で完成を予定していた上下水道局新庁舎について、入札の不調等により工事着工が遅れていますが、令和5年(2023年)1月の完成を目指し、次のとおり建設改良費を再計上します。また、令和3年(2021年)1月から新庁舎の完成までの間、仮設庁舎により対応するため、営業費用に賃借料、特別損失に現庁舎の解体費用を計上します。

(千円)

年 度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
新庁舎建設事業費	465, 127	672, 828	0	0	0
営業費用 (その他)	77, 572	77, 572	19, 393	0	0
特別損失	216, 073	0	0	0	0



#### 水道法の改正

・・人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の 水道の直面する課題に対応し、水道基盤の強化を図るために行われた改正 (水道施設台帳は令和4年9月30日までに作成)

#### 第 5 章 財政収支計算表

経営戦略で見込んだ財政収支の数値に第2章から第4章までの内容を盛り込むこと等により、令和7年度(2025年度)までの財政収支について見直しを行います。

#### (1) 収益的収支

			H28 (2016)	H29(2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
給水人口		(人)	225, 345	225, 337	225, 050	224, 763	223, 992
一般	年間有収水量	( m³)	21, 618, 024	21, 181, 029	20,661,805	21, 196, 451	21, 998, 620
一版 家庭用	供給単価	(円/m³)	141.31	140.75	138. 51	140.54	122. 03
水灰川	(一人当たり使用水量)	(0/日)	(262.8)	(257.5)	(251.5)	(257.7)	(269.1)
業務用	年間有収水量	( m³)	1,651,149	2, 131, 247	2, 549, 597	1, 962, 082	1,674,023
未伤用	供給単価	(円/m³)	284. 25	259.86	259.38	279.14	249. 24
合計	年間有収水量	( m³)	23, 269, 173	23, 312, 276	23, 211, 402	23, 158, 533	23, 672, 643
	供給単価	(円/m³)	151. 45	151.64	151. 79	152. 28	131.03

(千円)

収益	:的収支(税抜き)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)
	1. 営業収益	3, 696, 530	3, 723, 066	3, 691, 162	3, 692, 038	3, 278, 650
	給水収益	3, 524, 138	3, 535, 035	3, 523, 169	3, 526, 658	3, 101, 772
	(うち一般家庭用)	(3, 054, 807)	(2,981,206)	(2,861,857)	(2,978,968)	(2, 684, 531)
	(うち業務用)	(469, 331)	(553, 829)	(661, 312)	(547, 690)	(417, 241)
	受託工事収益	20, 431	18, 983	19, 229	17, 201	16, 017
収	その他営業収益	151,961	169, 048	148, 764	148, 179	
益	2. 営業外収益	673, 745	699, 713	779, 048	634, 511	821, 212
的	受取利息	10, 327	8, 857	4, 923		
収	分担金	184, 596	206, 860			
入	他会計補助金	6, 206	5, 574			
	雑収益	17, 427	18, 663			
	長期前受金戻入	455, 189	459, 759	470, 123		
	3. 特別利益	40, 331	1, 799			
	過年度損益修正益等	40, 331	1, 799			
	収益的収入合計	4, 410, 606				
	1. 営業費用	3, 882, 960	4, 186, 402	4, 390, 926		
	人件費	796, 841	769, 118	,		
	動力費	327, 472	342, 305	271, 394	242, 296	226, 895
	薬品費	51, 285	47, 206	40, 218	39, 648	68, 672
	修繕費	272, 792	217, 953	255, 062	229, 791	211, 875
収	受水費	619, 629	958, 743	1, 246, 054	1, 309, 637	1,062,045
益	委託料	408, 154	434, 796	426, 514	423, 767	463, 021
的	減価償却費	1, 259, 475	1, 268, 011	1, 297, 056		
支	除却費	6, 957	9, 079			
出	その他	140, 355	139, 191	109, 790		
	2. 営業外費用	202, 491	199, 872	201, 140		
	支払利息	202, 022	199, 558	200, 639	194, 019	
	その他	469	314	501	477	23, 136
	3. 特別損失	1, 316	1, 889	2, 779		5, 084
	過年度損益修正損等	1, 316	1, 889			
	収益的支出 合計	4, 086, 767	4, 388, 163			
当年	: 度純損益	323, 839	36, 415	458, 904	△ 974, 361	△ 290, 930

### (2) 資本的収支 (千円) 実績値← (決算見込み)

容才	的収支(税込)	H28 (2016)	H29(2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	
咨	企業債	1, 158, 100	1, 806, 600	916, 600	1, 751, 000	1, 398, 300	
本	工事負担金	73, 650	53, 973	29, 041	17, 342	0	
的	他会計負担金	3, 490	852	2,036	10, 095	12, 709	
収	その他資本的収入	500,000	1, 150, 000	1,000,312	757, 375	500,000	
入	資本的収入 合計	1,735,240	3,011,425	1,947,989	2, 535, 812	1,911,009	
	建設改良費	2, 475, 411	3, 122, 253	1, 200, 969	2, 055, 931	1,669,409	
	阪神水道受水事業費	2, 120, 953	2, 202, 401	428, 245	646, 145	0	
	水道水源間バックアップ強化事業費	0	5, 400	6, 480	0	0	
	管路更新・耐震化事業費	119, 222	141, 317	171, 473	588, 503	704, 984	
資	基幹施設耐震化事業費	8, 130	0	0	0	232, 624	
本	新庁舎建設事業費	0	595, 276	38, 898	38, 795	7, 403	
的	惣川浄水場浄水処理強化事業費	0	0	394, 200	0	364, 232	
支	その他施設・設備更新費等	227, 106	177, 859	161,673	782, 488	360, 166	
出	企業債償還金	445, 043	460, 173	476, 078	517, 987	548, 811	
	他会計貸付金	70,000	0	0	0	300,000	
	投資	510,000	500,000	500,000	250,000	0	
	その他資本的支出	0	0	0	0	0	
	資本的支出 合計	3, 500, 454	4, 082, 426	2, 177, 047	2, 823, 918	2,518,220	
資本	的収支不足額	$\triangle$ 1, 765, 214	$\triangle$ 1, 071, 001	△ 229, 058	△ 288, 106	△ 607, 211	
企業	債残高	11, 045, 248	12, 391, 675	12, 832, 197	14, 065, 209	14, 914, 698	
資金	残高	3, 591, 695	4,010,771	4, 035, 887	3, 778, 605	4, 030, 269	

#### (収益的収支)

→推定値

			R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
給水人口		(人)	223, 031	221, 939	220, 849	219, 761	218,675
一般	年間有収水量	( m³)	21, 784, 330	21, 661, 468	21, 537, 972	21, 416, 808	21, 295, 009
家庭用	供給単価	(円/m³)	142. 88	142.84	142.80	142. 76	142. 72
<b>永</b> 庭用	(一人当たり使用水量)	(0/目)	(267. 6)	(267.4)	(267. 2)	(267. 0)	(266. 8)
業務用	年間有収水量	( m³)	1, 657, 283	1, 655, 626	1, 653, 970	1, 652, 316	1,650,664
木/カ/П	供給単価	(円/m³)	257. 77	257. 51	257. 25	257.00	256. 74
台計	年間有収水量	( m³)	23, 441, 613	23, 317, 094	23, 191, 942	23, 069, 124	22, 945, 673
	供給単価	(円/m³)	151.00	150.98	150.96	150.94	150. 92

(千円)

収益	的収支(税抜き)	R3 (2021)	R4(2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	1. 営業収益	3, 728, 046	3, 687, 664	3, 668, 305	3, 649, 303	3, 630, 210
	給水収益	3, 539, 684	3, 520, 415	3, 501, 056	3, 482, 054	3, 462, 961
	(うち一般家庭用)	(3, 112, 486)	(3,094,071)	(3,075,565)	(3,057,414)	(3,039,170)
	(うち業務用)	(427, 198)	(426, 344)	(425, 491)	(424, 640)	(423, 791)
	受託工事収益	18,845	19,000	19,000	19,000	19,000
収	その他営業収益	169, 517	148, 249	148, 249	148, 249	148, 249
益	2. 営業外収益	687, 260	647, 957	635, 039	625, 025	598, 728
的	受取利息	1,982	1,836	1, 465	1, 485	1,263
収	分担金	180, 535	155, 600	153, 600	151,600	149,600
入	他会計補助金	5,624	5,000	5,000	5,000	5,000
	雑収益	38, 470	23, 500	17,500	17,500	17,500
	長期前受金戻入	460,649	462,021	457, 474	449, 440	425, 365
	3. 特別利益	320, 298	2,000	2,000	2,000	2,000
	過年度損益修正益等	320, 298	2,000	2,000	2,000	2,000
	収益的収入合計	4, 735, 604	4, 337, 621	4, 305, 344	4, 276, 328	4, 230, 938
	1. 営業費用	4, 495, 258	4, 462, 788	4, 373, 006	4, 342, 848	4, 304, 703
	人件費	764,411	699,818	694, 018	686, 418	616,023
	動力費	229, 063	234, 725	234, 725	234, 725	234, 725
	薬品費	45, 528	68, 065	68, 065	68, 065	68,065
	修繕費	250, 943	250, 938	250, 938	250, 938	250, 938
収	受水費	1, 241, 213	1, 241, 213	1, 241, 213	1, 241, 213	1, 241, 213
益	委託料	453,010	480,611	480, 611	480,611	541,947
的	減価償却費	1, 223, 718	1, 230, 047	1, 254, 244	1, 249, 453	1, 220, 367
支	除却費	7,825	7,825	7,825	7,825	7,825
H	その他	279, 547	249, 546	141, 367	123,600	123,600
ш	2. 営業外費用	201, 518	179, 178	177, 685	174, 306	172, 450
	支払利息	185, 304	178, 738	177, 245	173, 866	172,010
	その他	16, 214	440	440	440	440
	3. 特別損失	258, 283	1,852	1,852	1,852	1,852
	過年度損益修正損等	258, 283	1,852	1,852	1,852	1,852
	収益的支出 合計	4, 955, 059	4,643,818	4, 552, 543	4, 519, 006	4, 479, 005
当年	度純損益	$\triangle$ 219, 455	△ 306, 197	△ 247, 199	△ 242,678	△ 248,067

**(資本的収支)** (千円)

資本	的収支(税込)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
資本	企業債	1, 550, 500	1,643,500	1, 155, 000	1, 155, 000	1, 155, 000	
	工事負担金	18, 300	29, 773	29, 773	29, 773	29, 773	
的	他会計負担金	14,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
収	その他資本的収入	629, 635	0	500,000	0	300,000	
入	資本的収入 合計	2, 212, 435	1,685,273	1, 696, 773	1, 196, 773	1, 496, 773	
	建設改良費	1,911,875	2, 347, 828	1,650,000	1,650,000	1,650,000	
	阪神水道受水事業費	0	0	0	0	0	
	水道水源間バックアップ強化事業費	0	0	0	0	0	
	管路更新・耐震化事業費	920,000	920,000	920, 000	920, 000	920,000	
資	基幹施設耐震化事業費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	
本	新庁舎建設事業費	465, 127	672, 828	0	0	0	
的	惣川浄水場浄水処理強化事業費	0	0	0	0	0	
支	その他施設・設備更新費等	426, 748	655,000	630,000	630,000	630,000	
出	企業債償還金	584, 561	631, 176	666, 003	685, 620	706, 933	
	他会計貸付金	300,000	130,000	50,000	20,000	0	
	投資	500,000	0	0	0	0	
	その他資本的支出	0	0	0	0	0	
	資本的支出 合計	3, 296, 436	3, 109, 004	2, 366, 003	2, 355, 620	2, 356, 933	
資本	的収支不足額	△ 1,084,001	$\triangle$ 1, 423, 731	△ 669, 230	$\triangle$ 1, 158, 847	△ 860, 160	
企業	債残高	16, 092, 337	17, 104, 661	17, 593, 658	18, 063, 038	18, 511, 105	
資金	残高	3,671,514	2, 930, 876	2, 969, 042	2, 525, 355	2, 369, 955	

#### 財政収支のまとめ -

計画期間後期の合計で約13億円の損失が発生する見込みです。これは、令和2年度(2020年度)末までに獲得した利益剰余金約12億円を上回っています。第5章で検討した経営健全化の取組みを実行した上での金額であることから、事業を安定して継続するためには、料金改定について考慮する必要があります。計画期間前期終了時点において既に3年連続で経常収支比率が100%を下回っていますので、世代間の公平な負担を考えれば、できるだけ早い時期の料金改定が必要です。なお、水道料金の値上げの改定は、昭和55年度(1980年度)以降実施していません。

損失・・・・・赤字 (総費用が総収益を上回る額)

利益剰余金・・・企業が生み出した利益の累計額

経常収支比率・・経常収益の経常費用に対する割合(100%で経常収益が経常費用を

上回っている状態)

用語の説明

#### 第 6 章 総括原価方式による料金改定率の試算

経営戦略において、「5年連続して経常収支比率が100%を下回ることが予想される令和3年度(2021年度)までに、経営の合理化等の取組等を行うとともに、それでもなお純損益の赤字が見込まれる場合は水道料金の改定を検討します」と記載しています。今回の経営戦略の見直しにあたって、将来推計を見直した結果、令和4年度(2022年度)に5年連続して経常収支比率が100%下回る見込みとなったことから、必要な料金改定率を総括原価方式により試算します。

#### (1) 試算の条件

次の条件により改定率を試算します。

算定方法	総括原価方式			
算定期間	令和4年度(2022年度)から令和7年度(2025年度)			
算定基礎数值	第5章に記載の数値を採用			
対象経費から控除する額	長期前受金戻入額、受託工事収益、その他営業収益 の合計額			
次立外杜弗	償却資産の未償却残高の額×平均的自己資本構成比率(50%)×			
資産維持費	企業債借入利率の平均(0.5%)で算定(73,000千円/年)			

#### (2) 改定率の試算

算定期間(令和4年度(2022年度)から令和7年度(2025年度)まで)の給水収益と対象経費は次のとおりです。結果、総括原価方式により試算した改定率は15%です。

(千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	∆∌L
		(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	合計
給	水収益	3, 520, 415	3, 501, 056	3, 482, 054	3, 462, 961	13, 966, 486
対	象経費	4, 641, 966	4, 550, 691	4, 517, 154	4, 477, 153	18, 186, 964
	経常費用	4, 641, 966	4, 550, 691	4, 517, 154	4, 477, 153	18, 186, 964
対	象経費から控除する額	629, 270	624, 723	616, 689	592, 614	2, 463, 296
	長前前受金戻入額	462, 021	457, 474	449, 440	425, 365	1, 794, 300
	受託工事収益	19, 000	19,000	19,000	19,000	76, 000
	その他営業収益	148, 249	148, 249	148, 249	148, 249	592, 996
資産維持費		73, 000	73, 000	73, 000	73, 000	292, 000
不	足額	565, 281	497, 912	491, 411	494, 578	2, 049, 182

改定率 = 2,049,182千円 ÷ 13,966,486千円 ≒ 15%



総括原価方式・・かかった費用(人件費、薬品費等)から水道料金以外の収入を控 除して料金を算定する方法

資産維持費・・・施工環境の悪化や高機能化による工事費の増大等に対応するため に原価に算入される費用

#### 第7章 今後の課題

今後、人口の減少により有収水量が減少し、それに比例して給水収益も減少するため、令和50年度(2068年度)の給水収益は、令和元年度(2019年度)と比較して約13億円減少する見込みです。それに対して費用は、老朽化・耐震化の対策として毎年度約10kmの管路更新を行うことから、企業債に係る支払利息や減価償却費が増加します。令和50年度(2068年度)の減価償却費は令和元年度(2019年度)の約12億円から約3億円増加して約15億円となり、それに応じて企業債に係る支払利息や償還金も増加します。50年後の宝塚市の水道事業は、現在とは比較にならないほど厳しい経営状況になるため、この50年間で複数回の料金改定が必要です。

なお、この経営予測は毎年度平均して約17億円の管路更新等の費用が必要というタイプ2C (将来の更新需要を簡易な方法で検討する手法)のアセットマネジメントから算出しており、計画期間後期で予定しているタイプ3C (将来の更新需要をタイプ2Cより詳細に検討する手法)へのレベルアップにより、変動する可能性があります。よって、今後の詳細な経営予測は、タイプ3Cへのレベルアップの結果を待つ必要があります。

また、アセットマネジメントの問題と共に、近い将来に解決すべき問題が、水源の問題です。現在は「自己水」(惣川浄水場及び小浜浄水場で浄水する水)「兵庫県営水道からの受水」「阪神水道企業団からの受水」の3つの水源から供給しており、それぞれほぼ同量の配分となっていますが、将来の水需要の低下により、どの水源にどれだけの水量を求めるのが適当かを検討する必要があります。



有収水量・・・料金徴収の対象となる水量

企業債・・・・水道施設の建設等に充てるために借り入れる借入金

減価償却費・・資産の取得に要した額を使用できる期間に配分した費用

アセットマネジメント・・水道施設の効率的かつ効果的な管理運営の体系的な手法